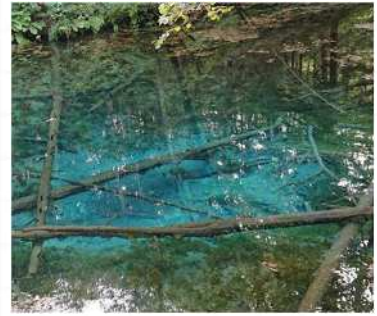


ENERGY FRONTIER JOURNAL



エネルギーフロンティア ジャーナル 2026年 秋号 目次



- 時事解説
『GXフューチャーリーグ』について
- エネルギーフロンティアの事業紹介
2027年度 省エネ・再エネ 最新補助金情報
- エネルギーフロンティアのひとり言
エゾシカに想う
- イベント情報
秋のイベント情報 ほか

VOL.62

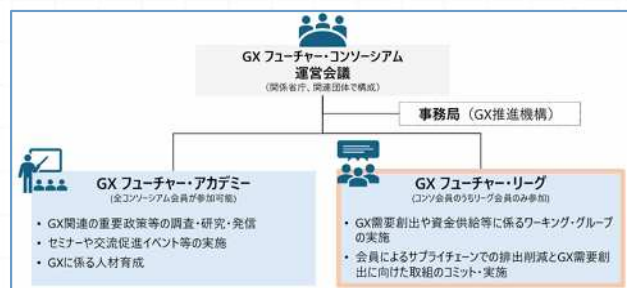


『GXフューチャーリーグ』について

ようやく季節が進み、秋の気配を感じるようになりました。皆さま短い快適な時期を愉しくお過ごしいただければ、と思います。さて、2026年秋号では、2026年度から本格的に始動した、**日本版CO2排出量取引制度『GXフューチャーリーグ』**について、これまでの経緯も踏まえて、最新状況をご案内させていただきたいと思います。

『GXフューチャーリーグ』とは？

日本版CO2排出量取引制度として、すでに2023年度から「**GX-ETS**」が始動していましたが、**2026年4月**、企業を官民で推進する「**GXフューチャー・コンソーシアム**」が発足



出典：GXフューチャーリーグパンフレット

して、日本のGXを牽引してきた「**GXリーグ**」は、「**GXフューチャーリーグ**」へと刷新されました。これまで、「GXリーグ」では、2050年カーボンニュートラルを目指して意欲的に取り組む企業、**特にCO2排出量が10万トン以上の製造業を中心に、日本のCO2排出量の5割超を占める700社超**が参画してきました。制度参加には、第三者による検証など、**厳しいルールが適用**されてきましたが、今後、CO2排出削減を社会全体で進めるには、製造過程だけではなく、**流通、小売、サービス業まで含めたサプライチェーン全体**の活動を目指すため、**要件が緩和**されて、これからGXを始める企業でも**入会しやすい制度**となっています。発足初年度になる**2026年度の会員数**は、すでに**2500社以上**にのぼっています。入会した企業は、「**2030年度の排出目標の提出**」や「**毎年度の排出実績量の報告**」などが求められます。GXフューチャーリーグ会員は、テーマ別のワーキンググループへの提案や参加も可能になります。制度の詳細は、「**GXフューチャー・コンソーシアムWebサイト**」で確認することができます。なお、必要書類の提出や通知等は、事務局である「**GX推進機構**」が窓口を担っています。

「GX関連予算」の補助金と『GXフューチャーリーグ』との関連について

すでに数年前から、**経済産業省様「省エネ補助金」**を適用するにあたり、大企業様の場合には、上記のような「**GX要件のコミット**」や「**省エネ法定期報告書 開示制度への参加**」などが、申請要件となってきました。**2026年度に予算化された「GX関連予算」**においては、**補助対象となる機器メーカー**にも、「**GX要件のコミット**」が求められました。つまり、国としては、**カーボンニュートラルに積極的な企業への働きかけを強める**ため、**補助金制度等をターゲット**として、メリットを受けられる**ハードルを上げる**ことにより、国全体として、**GXを目指す企業を誘導**している、とも言えると思います。現状では、**経済産業省様「設備単位型補助金」**においては、中小企業様への「GX要件のコミット」等は課されていませんが、今後の**トレンドを注視**していく必要があるように思います。ただし、GXを推進するうえで、各企業の**自主的なCO2排出削減が主な活動**であるのに対して、あくまでも「**排出量取引制度**」は、**目標達成のための埋め合せ（カーボンオフセット）**として、「**補完的な手段**」であることを忘れてはいけないと思います。今後も継続的に最新情報をお伝えしたいと思います。

2027年度 省エネ・再エネ 最新補助金情報

経産省様版「設備単位型補助金」の変更点と環境省様版「設備単位型補助金」の新設

2027年度の概算要求予算の補助金情報等が公開される時期になりました。最新情報をお届けしたいと思います。

経済産業省様「省エネルギー投資促進支援事業費補助金（予算額150億円）」では、今年度と同様、「設備単位型補助金」が実施予定となっています。ただし、「従来枠」の設備費の補助率が、**1/3から1/4に変更**されるようです。「メーカ強化枠」の補助率は、1/3のままとなるかなど、今後も最新情報をいち早くご提供していきたいと思っています。

なお、注目すべきトピックスとしては、環境省様「脱炭素技術等による工場・事業場の省CO2化加速事業（SHIFT事業）（予算77億円）」のうち、「最高性能型導入支援事業」として、**中小企業様向けに、設備のみが対象**となる、**補助率1/3の補助制度が新設**されるようです。

省エネルギー投資促進支援事業費補助金	
国・都道府県・市町村・事業者等が共同で実施する事業（2027年度予算150億円）	
事業目的：省エネルギー投資促進支援事業費補助金（2027年度予算150億円）	
事業内容：省エネルギー投資促進支援事業費補助金（2027年度予算150億円）	
補助率：1/4以内（上限）1/3以内	
補助対象：省エネルギー投資促進支援事業費補助金（2027年度予算150億円）	

出典：経済産業省様 予算資料

脱炭素技術等による工場・事業場の省CO2化加速事業（SHIFT事業）	
国・都道府県・市町村・事業者等が共同で実施する事業（2027年度予算77億円）	
事業目的：脱炭素技術等による工場・事業場の省CO2化加速事業（SHIFT事業）	
事業内容：脱炭素技術等による工場・事業場の省CO2化加速事業（SHIFT事業）	
補助率：1/3以内（上限）1/3以内	
補助対象：脱炭素技術等による工場・事業場の省CO2化加速事業（SHIFT事業）	

出典：環境省様 予算資料

環境省様『ペロブスカイト太陽電池』関連補助金のご紹介

今後の太陽光発電の担い手として期待される『**ペロブスカイト太陽電池**』関連の最新補助金情報もお届けします。令和7年度から開始された「**ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業**」は、予算要求額が今年度の**70億円から280億円へと、大幅増額要求**となっており、非常に注目度が高いことが伺えます。当社も**今年度補助金ご支援**をさせていただきました。

また、来年度に新設される事業として、「**政府施設を活用した各行政分野におけるペロブスカイト太陽電池の需要創出事業（予算5億円）**」が公表されています。ペロブスカイト太陽電池の早期の社会実装に向けて、**導入による有効性の評価・検証**などを行う事業になっています。民間に先駆けて、**公共性の高い施設等**への、ペロブスカイト太陽電池の導入につながることが期待されます。

政府による**電気代やガス代などの補助**が、**9月で打ち切られました**。**ガソリン価格**も、**補助によって一定の水準を維持**している状況です。中東情勢も落ち着く気配が見通せず、今後も**エネルギー価格高騰への懸念**が続くかと思えます。については、**補助金活用による省エネ・再エネ導入を進めていただき、少しでも節約**をしながら、日本全体の**エネルギー使用量 および CO2 排出量削減**にも貢献していただきたいと思っています。

ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業	
国・都道府県・市町村・事業者等が共同で実施する事業（2027年度予算70億円）	
事業目的：ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業	
事業内容：ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業	
補助率：1/3以内（上限）1/3以内	
補助対象：ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデルの創出に向けた導入支援事業	

出典：環境省様 予算資料

政府施設を活用した各行政分野におけるペロブスカイト太陽電池の需要創出事業	
国・都道府県・市町村・事業者等が共同で実施する事業（2028年度予算5億円）	
事業目的：政府施設を活用した各行政分野におけるペロブスカイト太陽電池の需要創出事業	
事業内容：政府施設を活用した各行政分野におけるペロブスカイト太陽電池の需要創出事業	
補助率：1/3以内（上限）1/3以内	
補助対象：政府施設を活用した各行政分野におけるペロブスカイト太陽電池の需要創出事業	

出典：環境省様 予算資料

エネルギーフロンティアは、「省エネ・再エネ補助金」をご活用いただき、設備導入を進める『協働事業』を実施させて頂きたく、当社にぜひお声掛けください。

エネルギーフロンティアのひとり言

* * エゾシカに思う * *

この秋、仲間たちと北海道を旅行しました。道東の知床五湖まで足を延ばし、レクチャーを受けたうえで、湖畔の地上遊歩道も歩いてみて、ヒグマ生息地を身近に感じる体験もしてきました。

日本全国、クマの目撃情報や、実際に被害に遭われている方もおられ、社会問題になっていると思います。かつて存在していた里山が徐々に失われて、人間と動物の居場所の境目が無くなっている、とも言われています。今回、数多く目撃したのがエゾシカでした。右の写真も、展望台の直ぐ近くで撮影したものです。



EFのひとり言

自分自身、学生時代に北海道で生活していましたので、少し野生に立ち入ると、キタキツネやシマリスたちに遭遇することは、良くありました。作家の倉本聰さんが亡くなられ、かつてのドラマ「北の国から」でも、富良野の動物たちが登場する場面も多かったと思います。

ただし、今回は数日北海道に滞在しただけでしたが、本当に多くエゾシカと出逢いました。車で走っていると道を横切ったり、自分たちが近づいてもピクリとも動かなかったり、数十年前の記憶とは、まるで違っていた印象で、エゾシカが異常繁殖しているように感じました。

秋の味覚であるサケやサンマも不漁とも聞いており、地球危機の影響だけでは無いとは思いますが、何か大きく環境変化していることを肌で感じました。北の大地の静けさに触れて、大きく深呼吸しつつ、将来の北海道の姿を想像して、とても複雑な気持ちになった旅でした。

イベント情報

- ✓ 11月18日～20日に「第14回 SMART EVERYGY WEEK 関西」が、インテックス大阪で開催されます。「熱エネルギー展」「サステナブル経営WEEK」も同時開催ですので、ぜひご来場下さい。
- ✓ また、12月16日～18日には、「エネルギーイノベーション総合展」が、東京ビッグサイトで開催されます。「ENEX2027」「Renewable Energy21st」などの展示会が開催される予定です。
- ✓ 日本政府による、電気代や都市ガス代などの補助金が、9月使用分で終了しました。その影響もあり、10月使用分からのエネルギーコストの負担が増えています。今後の価格変動が気になります。
- ✓ 国連環境計画（UNEP）は、9月に報告書を発表し、今後数年間に産業革命前からの気温上昇が1.5℃を超える見込みであることを公表しました。報告書では、世界が初めて「オーバーシュート（超過）の時代」に入ったと位置づけました。もし、気温上昇が1.5℃を超えると「後戻りできない気候の転換点（ティッピングポイント）」に達する可能性が高まることも、警告しています。
- ✓ 本号でも触れた「ペロブスカイト太陽電池」に関するトピックスです。京都大学発のスタートアップ企業「エネコートテクノロジーズ」は、量産の拠点となる、新工場が宇治市に完成して、2028年にも本格稼働を開始し、年間数十メガワットの太陽電池を生産できる予定とのこと。

イベント情報



〒530-0012 大阪市北区芝田2-3-19 東洋ビル本館3F

TEL : 06-6940-7681

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-9 エリナビル202

TEL : 03-6206-1245

E-Mail : info@energyfrontier.jp HP : <https://www.energyfrontier.jp>